

地質サイトカード

カードNo.	A-②-4	通しNo.	21	作成日	2025/3/10
サイト名	にしはまさだ じゅうろくはげ 西浜佐陀の十六禿				
基本情報	エリア	島根半島 眺望サイト			
	区分	<input checked="" type="checkbox"/> 地質・地形	<input type="checkbox"/> 生態	<input type="checkbox"/> 文化	
	利用価値	<input checked="" type="checkbox"/> 科学	<input checked="" type="checkbox"/> 教育	<input checked="" type="checkbox"/> 観光・ツアー	
	所在地	松江市西浜佐陀町			
	アクセス	山陰道玉湯ICから約10km、約15分で西浜佐陀町。 松江市営バス朝日ヶ丘線、一畑電鉄松江イングリッシュガーデン前駅			
	周辺施設	<input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 売店 <input type="checkbox"/> 飲食店 <input type="checkbox"/> 駐車場(台) <input type="checkbox"/> ウォーキングコース <input type="checkbox"/> サイクリングコース <input checked="" type="checkbox"/> 観光施設(イングリッシュガーデン)			
	看板整備				
留意点				位置情報	e-2
保護・保全	法規制・関連団体等				
	保全メモ				
サイトの解説	みどころ	宍道湖北東の湖岸の白い崖			
	地質・地形	<p>松江市街に近い宍道湖の北岸には白い崖が連なっている。白い崖は16ヶ所あり、古くより十六禿(じゅうろくはげ)とよばれ松江市民に親しまれた景観である。この十六禿は、1100万年前の松江層の細粒の石英質砂岩でできている。島根半島が深い海から浅い海へと隆起した時期に堆積したもので、当時の松江市街一帯は、島が点在する海岸地形が広がっていた。このような浅い海に堆積した地層は黒みがかったオリーブ色になるが、長い時間をかけて隆起した垂直な砂の崖では水の吸収と乾燥がバランスよく進み、有色成分が溶け出してしまったために石英や長石類だけが残る白っぽい崖になった。十六禿の白い崖は、長い時間をかけた風化作用を受けたものである。</p>			
	歴史・文化 生物・生態 等				
写真・図等					
参考文献	鹿野和彦・中野 俊(1985)美保関地域の地質				